

第72回 保健文化賞要綱

- 主 催 第一生命保険株式会社
- 後 援 厚生労働省・朝日新聞厚生文化事業団・NHK厚生文化事業団
- 対 象
 1. 保健衛生（関連する福祉等を含む）を実際に著しく向上させた団体あるいは個人
 2. 保健衛生（関連する福祉等を含む）の向上に著しく寄与する研究または発見をした団体あるいは個人
- 応 募
 - ・応募用紙は規定の用紙（候補者調書）を使用すること
ダウンロードはこちらから↓
<https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/challenges/hoken.html>
 - ・必ず推薦者を得て提出のこと
 - ・記入後の応募用紙（現物）は郵送、ワードデータはEメールで送付ください。
郵送先：〒100-8411 東京都千代田区有楽町1-13-1（TEL050-3780-6950）
第一生命保険株式会社 DSR推進室 保健文化賞担当
Eメール：hobun1950@dl.dai-ichi-life.co.jp
- 審 査 審査委員会が行なう（審査委員は次頁のとおり）
- 表 彰 受賞者全員に以下をそれぞれ贈呈する
厚生労働大臣賞（表彰状）
第一生命賞（感謝状：賞金 団体200万円、個人100万円）
朝日新聞厚生文化事業団賞（記念品）
NHK厚生文化事業団賞（記念品）
- 表彰場所 東京
- 日 程
 - ・募集開始 2020年2月3日(月)
 - ・締 切 日 2020年4月17日(金) 当日消印有効
 - ・審査・発表 2020年9月上旬
 - ・表彰期日 2020年秋

審 査 委 員 名

■学識経験者 (五十音順)

国立医薬品食品衛生研究所長	奥小福前松森山脇	田林島田谷	晴弘靖晃有 <small>希</small>	宏祐正伸雄亨司字
北里研究所理事長				
国立保健医療科学院長				
日本放送協会会長				
日本公衆衛生協会理事長				
結核予防会結核研究所名誉所長				
東京大学医科学研究所長		梨田	裕隆	
国立感染症研究所長				

■厚生労働省

医務技監	鈴木大	木坪	康寛	裕子
大臣官房審議官				
<small>(危機管理、科学技術・イノベーション、国際調整、がん対策、国立高度専門医療研究センター担当)</small>				
医政局長	吉宮樽浅渡橋大濱	田寄見沼	雅英一	学則樹成子宏博樹
健康局長				
医薬・生活衛生局長				
大臣官房生活衛生・食品安全審議官				
子ども家庭局長		辺由美	泰一浩	
社会・援護局障害保健福祉部長		本島谷		
老健局長				
保険局長				

■社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団

理事	飯鈴	田木	真	也健
業務執行理事				

■社会福祉法人NHK厚生文化事業団

理事	鈴石	木川	賢	一信
常務理事				

■第一生命保険株式会社

代表取締役社長	稲畑	垣中	精秀	二夫
取締役常務執行役員				

(敬称略 2020.2.1現在)

応募にあたっての留意事項

応募にあたっては第72回保健文化賞要綱によりますが、次の点にご留意ください。

1. 保健文化賞の対象となる保健衛生（関連する福祉等を含む）とは、健康増進、疾病予防などの保健医療分野、高齢者・障がい者の保健福祉分野、少子化対策等をいいます。
2. 日本国内に限らず、国外における活動も対象とします。
3. 純学術的なものより、地域に密着した地道で身近な活動や実際的な活動を対象とします。
4. 推薦者を必要とし、自薦ではなく他薦とします。なお、下記の各種団体（※）には推薦協力を依頼しています。
5. 推薦者は応募者の承諾を得て推薦するものとします。
6. 同一功績による団体とその団体に属する個人が同時に応募することはできません。
7. 提出書類は返還しません。
8. 受賞決定後、受賞者名・職業および都道府県名等を公表します。
9. 候補者調書など関係書類の内容に事実と異なる記載がある場合や、本賞の授与にふさわしくないと判断される事実が判明した場合は、受賞した後であっても受賞が取り消される場合があります。
10. 要綱は、第一生命ホームページにも掲載しています。

応募用紙（候補者調書）は、ホームページよりダウンロードできます。

・第一生命ホームページ <https://www.dai-ichi-life.co.jp>

・応募用紙（候補者調書）ダウンロードはこちらから↓

<https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/challenges/hoken.html>

<団体の応募の対象>

11. 活動実績が原則として10年以上あり、かつ将来の活動も期待できるものとします。ただし、東日本大震災被害への支援を主たる目的とする活動に限り、活動年数は問いません。
12. 過去に以下の表彰歴のある団体は応募の対象としません。
 - ・過去20年以内に保健文化賞を受賞している団体。
 - ・過去20年以内に保健文化賞を受賞した個人が代表を務めている又は代表を務めていた団体。
 - ・過去に叙勲又は褒章（紺綬褒章を除く）を受けた方が代表を務めている又は代表を務めていた団体にあつては、それと同一功績での応募。
 - ・過去20年以内に、「医療功労賞」「障害者自立更生等厚生労働大臣表彰」などの天皇皇后両陛下の拝謁を賜る厚生労働大臣表彰を受賞した方が代表を務めている又は代表を務めていた団体にあつては、それと同一功績での応募。
 - ・過去10年以内に同一功績により厚生労働大臣表彰を受けた団体。

<個人の応募の対象>

13. 年齢が原則として50歳以上で、活動年数が原則として10年以上あり、かつ将来の活動も期待できる方とします。ただし、東日本大震災被害への支援を主たる目的とする活動に限り、活動年数は問いません。
14. 国・都道府県・指定都市等の本省庁職員、特別職公務員およびこれらに準ずる職種の方は対象としません。ただし、これらの職種の方についても、離職後は対象となりますが、公務としての業績は対象としません。
15. 過去に以下の表彰歴のある方は応募の対象としません。
 - ・過去に保健文化賞を受賞した方および受賞した団体の代表であった方。
 - ・過去に叙勲又は褒章（紺綬褒章を除く）を受けた方。
 - ・過去に、「医療功労賞」「障害者自立更生等厚生労働大臣表彰」などの天皇皇后両陛下の拝謁を賜る厚生労働大臣表彰を受賞した方および受賞した団体の代表であった方。
 - ・過去10年以内に同一功績により厚生労働大臣表彰を受けた方。
16. 個人の受賞の対象は、審査委員会時に存命である方とします。

(※) 推薦協力を依頼している団体

都道府県、指定都市、中核市、保健所政令市、特別区や、医学部、歯学部、薬学部、看護学部又は福祉学部を有する大学、その他関係機関および団体等 (P.37「推薦協力依頼をしている関係機関および団体等抜粋」参照)